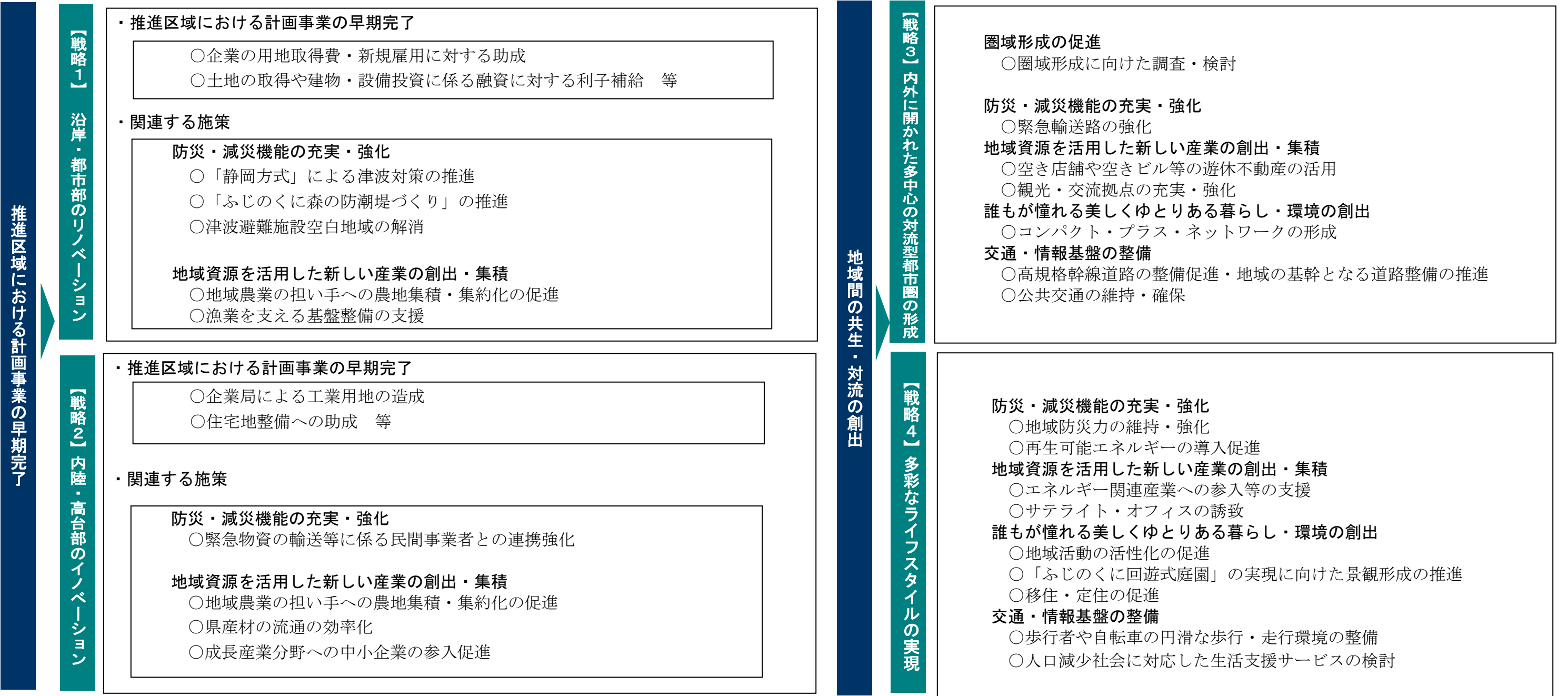


**第2期基本計画の概要**

計画期間《2018—2022》

これまで取り組んできた、ふじのくにフロンティア推進区域（以下、「推進区域」）において計画されたすべての事業の早期完了を図るとともに、推進区域を活用して、他の地域等との間で人・モノ・情報が双方向で行き交う対流が発生する圏域形成につながるような取組を展開

主な数値目標	現状値	目標値
計画事業が完了した推進区域の割合	32% (2017年度)	100% (2022年度)
推進区域における工業用地等造成面積	50ha (2013～2017年度)	480ha (2013～2022年度)
推進区域における住宅地造成区画数	318区画 (2013～2017年度)	900区画 (2013～2022年度)



**総合特区** 新東名高速道路等の高規格幹線道路を最大限活用し、内陸部に災害に強く魅力ある先進地域を築くとともに、都市部を防災・減災に対応した地域に再生し、両地域間の連携と相互補完により県土の均衡ある発展を目指す取組を、県・市町が連携・協力して推進するため、総合特区制度を活用

・規制の特例措置の提案  
・金融上の支援措置  
・財政・税制上の支援措置

**その他の取組**

○中部横断自動車道を活用した地域づくり  
中部横断自動車道、新東名高速道路・東名高速道路等の南北・東西軸や清水港、大規模な樹園地団地等の地域資源の活用による「食」をテーマとした、県境を越えてモノ・人が賑わう地域づくりを支援

○東名・新東名 IC 周辺地域における土地利用  
富士山を背後に有する交通の結節点となる東名高速道路沼津 IC と新東名高速道路長泉沼津 IC の周辺地域において、美しい景観と活力ある産業基盤が両立する地域づくりを支援